

南北大東地区

地上デジタル化・光ケーブル敷設

糸満市米須と南大東島を結ぶ約410キロに及ぶ海底光ケーブルの敷設工事をスタートしました。

現在(平成22年4月)、沖縄本島からの電波が届かないため、衛星経由で首都圏向けの番組を視聴していますが、地上デジタル放送による県内放送を視聴できるようにするため、沖縄本島から南大東島まで、約410kmの海底光ケーブル敷設に取り組んでいます。地上デジタル放送に完全移行する平成23年7月までに工事が完了して放送が開始できる予定です。



南大東郵便局

(郵便局株式会社)

国営から民間へと形態は変わっても、村民に親しまれる「お客様の現在と将来のより良い生活づくり」に貢献しています。



沖縄電力(株)南大東電業所

昭和45年に全島電化が実施され、翌年より24時間送電となりました。

当初は、村直営の事業として実施されたが昭和47年に沖縄電力(株)の前進である琉球電力公社へ移管され現在に至っています。現在、南大東発電所では、ディーゼル発電機6台を設置しており、認可出力は3,900kwとなっています。



南大東地方気象台

日本全国どこでも“南大東島”という名を台風情報などで聞いたことがあるという人は多いと思います。太平洋上の南大東島にあって、台風や熱帯低気圧の発生・発達等の監視や調査にとって重要な役割を果たす貴重な観測拠点です。



台風時に太平洋から押寄せる怒濤の荒波